

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2017-148105 (P2017-148105A)

【公開日】平成 29 年 8 月 31 日 (2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報 2017-033

【出願番号】特願 2016-30750 (P2016-30750)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 2 日 (2019.9.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行に基づいて演出を行う遊技機であって、

演出に関する複数種類の情報を記憶可能な情報記憶手段と、

前記情報記憶手段から読み出される情報に基づいて画像オブジェクトを作成可能な画像オブジェクト作成手段と、

前記画像オブジェクト作成手段により作成される前記画像オブジェクトを含むパラレル信号を出力するパラレル信号出力部と、

前記パラレル信号出力部により出力されるパラレル信号を、正相の信号と逆相の信号とから構成されるシリアル信号に変換して出力する信号変換手段と、

前記正相の信号を伝送する配線と前記逆相の信号を伝送する配線とを撚り合わせて構成される撚り線と、

前記撚り線を介して伝送される前記正相の信号が入力される正相側インダクタンス素子と、

前記撚り線を介して伝送される前記逆相の信号が入力される逆相側インダクタンス素子と、

前記正相側インダクタンス素子を介して入力される前記正相の信号と前記逆相側インダクタンス素子を介して入力される前記逆相の信号とから構成されるシリアル信号をパラレル信号に復元して出力する信号復元手段と、

前記信号復元手段により出力される復元されたパラレル信号に基づいて前記画像オブジェクト作成手段により作成される前記画像オブジェクトに基づいて画像を表示する画像表示手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(解決手段1)

遊技の進行に基づいて演出を行う遊技機であって、演出に関する複数種類の情報を記憶可能な情報記憶手段と、前記情報記憶手段から読み出される情報に基づいて画像オブジェクトを作成可能な画像オブジェクト作成手段と、前記画像オブジェクト作成手段により作成される前記画像オブジェクトを含むパラレル信号を出力するパラレル信号出力部と、前記パラレル信号出力部により出力されるパラレル信号を、正相の信号と逆相の信号とから構成されるシリアル信号に変換して出力する信号変換手段と、前記正相の信号を伝送する配線と前記逆相の信号を伝送する配線とを撚り合わせて構成される撚り線と、前記撚り線を介して伝送される前記正相の信号が入力される正相側インダクタンス素子と、前記撚り線を介して伝送される前記逆相の信号が入力される逆相側インダクタンス素子と、前記正相側インダクタンス素子を介して入力される前記正相の信号と前記逆相側インダクタンス素子を介して入力される前記逆相の信号とから構成されるシリアル信号をパラレル信号に復元して出力する信号復元手段と、前記信号復元手段により出力される復元されたパラレル信号に基づいて前記画像オブジェクト作成手段により作成される前記画像オブジェクトに基づいて画像を表示する画像表示手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この遊技機では、遊技の進行に基づいて演出を行うことができ、情報記憶手段、画像オブジェクト作成手段、パラレル信号出力部、撚り線、正相側インダクタンス素子、逆相側インダクタンス素子、信号変換手段、信号復元手段、取出手段、画像表示手段を備えている。情報記憶手段は、演出に関する複数種類の情報を記憶することができるものである。画像オブジェクト作成手段は、情報記憶手段から読み出される情報に基づいて画像オブジェクトを作成することができるものである。パラレル信号出力部は、画像オブジェクト作成手段により作成される画像オブジェクトを含むパラレル信号を出力することができるものである。信号変換手段は、パラレル信号出力部により出力されるパラレル信号を、正相の信号と逆相の信号とから構成されるシリアル信号に変換して出力することができるものである。撚り線は、正相の信号を伝送する配線と、逆相の信号を伝送する配線と、を撚り合わせて構成されるものである。正相側インダクタンス素子は、撚り線を介して伝送される正相の信号が入力されている。逆相側インダクタンス素子は、撚り線を介して伝送される逆相の信号が入力されている。信号復元手段は、正相側インダクタンス素子を介して入力される正相の信号と逆相側インダクタンス素子を介して入力される逆相の信号とから構成されるシリアル信号をパラレル信号に復元して出力することができるものである。取出手段は、信号復元手段により出力される復元されたパラレル信号に基づいて画像オブジェクト作成手段により作成される画像オブジェクトを取り出して出力することができるものである。画像表示手段は、画像を表示するものである。なお、正相側インダクタンス素子及び逆相側インダクタンス素子としては、例えば、フェライトビーズを挙げることができる。このフェライトビーズは、フェライトビーズのインダクタ（コイル）成分が撚り線に侵入したノイズを反射して通過させなくするとともに、フェライトビーズの抵抗成分が撚り線に侵入したノイズを熱に変換して除去することができるという特性を有している。このようなフェライトビーズの特性により、撚り線を介して伝送されるシリアル信号に対してノイズの重畳による波形の乱れを抑制して綺麗な波形に整えることができる。